次世代型オープンイノベーションのモデル形成事業　応募提案書

文部科学省科学技術・学術政策局長　殿

〒

住所

機関名

代表者職・氏名

次世代型オープンイノベーションのモデル形成事業の提案書を以下のとおり提出します。

# 申請大学情報

１．代表機関

|  |  |
| --- | --- |
| 代表機関名 |  |
| 代表者名 | 大学の場合は理事、副学長、学長等の役職の方を想定し、出資会社の場合は代表取締役を想定。 |
| 代表者所属・役職 |  |
| 所在地 | 〒※大学の所在地を記載してください。 |

２．連携機関

※該当する場合のみ記載

※複数機関が連携する場合は、以下の表をコピーして記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 代表機関名 |  |
| 代表者名 | 大学の場合は理事、副学長、学長等の役職の方を想定。 |
| 代表者所属・役職 |  |
| 所在地 | 〒※大学の所在地を記載してください。 |

３．協力機関

※該当する場合のみ記載

※複数機関が連携する場合は、以下の表をコピーして記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 代表機関名 |  |
| 代表者名 | 大学の場合は理事、副学長、学長等の役職の方を想定。 |
| 代表者所属・役職 |  |
| 所在地 | 〒※大学の所在地を記載してください。 |

# プロジェクトリーダー

※本項目では、プロジェクトリーダーについてA4用紙1ページ以内で記述してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 年齢 |  | 顔写真 |
| 所属・役職 |  |
| 略歴 |  |

【本事業にかける思いや抱負】

本事業の顔となるプロジェクトリーダーには、情熱やリーダーシップがあり、固定観念にとらわれず客観的に物事を捉える資質を保有すること等が求められます。プロジェクトリーダーが感じている課題意識・経験を基にした改善事項・事業達成や改善に向けた抱負など（一例）、本事業にかける思いとしてご自身を一番アピールできる形で自由に記述してください。

【代表機関からのコミットメント等】

本事業を実施するため、代表機関からプロジェクトリーダーに与えられた権限や、代表機関からのコミットメントについて記載してください。

# スタートアップ成長支援モデルの要旨

※本項目では、本事業の支援を受けて目指す「スタートアップ成長支援モデル」の要旨をA4用紙2ページ以内で記述してください。

1. モデルに含む各成長支援機能

※公募要領の表２で示す成長支援機能のうち、実施する項目にチェックを入れてください。例示以外を提案する場合は独自項目に記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| チェック欄 | 成長支援機能（大項目） | 成長支援機能（小項目） |
| ☑（必須） | オープンイノベーション | 事業会社との連携・協業 |
| ☑（必須） | トップダウンによるマッチングアレンジ |
|  | 経営支援 | グローバル展開支援 |
|  | ディープテック経営支援 |
|  | 金融機関とのマッチング |
|  | 自治体とのマッチング |
|  | 技術支援 | 技術協力・共同研究 |
|  | 研究施設・設備の貸与 |
|  | 人材支援 | 事業会社の人材の紹介 |
|  | 学生のインターンシップ |
|  | 情報・相談支援 | 相談窓口 |
|  | 独自項目（　　　　　　　） |

1. モデルの概要

以下の２点のすべてを含んで概要を記述してください。

* モデル図（各ステークホルダー、支援内容、人・モノ・金・情報のフロー、を簡略的に図示）
* 本委託事業終了後および5年後に、大学およびスタートアップが目指す姿（定量・定性的目標、成長支援機能の自立化に向けて外部資金を確保する方法を含む）

# スタートアップ成長支援モデルの具体内容

※評価者が理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図表（カラー可）も用いてください。

※本項目では、要旨で書いたスタートアップ成長支援モデルの具体的な内容をA4用紙3ページ以内で記述してください。

1. モデルに含む各成長支援機能の詳細
2. 各成長支援機能における具体的な支援内容と数値目標

要旨の「モデルに含む各成長支援機能」の具体的な内容と、それぞれの目標（マッチング数等）を記述してください。また、提案するモデルについて、これまでに実現できなかった理由（大学内外の制度、人事、規程、資金等）と、それに対してどのように解決を図るのかについて記述してください。

1. スケジュール

※各成長支援機能について、事業実施期間中のスケジュールを記述してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 成長支援機能（小項目） | R7.8 | R7.9 | R7.10 | R7.11 | R7.12 | R8.1 | R8.2 | R8.3 |
| **１．**  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **２．**  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |  |  |

1. スタートアップの重点支援

※本事業では、特定のスタートアップに対する重点支援により、フラッグシップとなる成功事例を生み出すことを目的としています。

支援するスタートアップを決定している場合は、当該スタートアップの社名及び成長ステージ、並びにその選定理由（成長が期待できる理由等）を記述してください。また、提案した成長支援機能により、当該スタートアップがどのように成長するか、具体的に成功イメージを記述してください。

支援するスタートアップを決定していない場合は、成長が期待できるスタートアップをどのように選定し、重点支援するのかについて記述してください。

1. 出資会社が代表機関となる場合は、出資元である大学等の本事業に対するコミットメント（該当する場合のみ）
2. 本事業を通じた大学改革へのアクション

※本事業では、学内の制度・規程・組織等の改革（大学改革）を通じて、全学的かつ持続的な取組とすることを期待しています。本事業を実施する中でどのように大学を改革するのかについて記述してください。

# 実施体制・予算計画

1. 実施・連携体制

※本事業を実施するにあたっての事業推進体制について具体的に記述してください。

・代表機関、連携機関、協力機関間における関係性を記述すること。

・参画機関ごとの分野・役割が、それぞれの強み・特色に照らして適切なものとなっていること。

・プロジェクトリーダーが統括してマネジメントできる体制であること。

1. 予算計画

【各機関の事業計画】　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：百万円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ○○（代表機関） | △△（連携機関）（該当ある場合のみ） |
| 設備備品費 |  |  |
| 試作品費 |  |  |
| 人件費 |  |  |
| 業務実施費 |  |  |
| 一般管理費 |  |  |

（各費目費は予定額を記述）

※以下のそれぞれの支出内容は、事業計画の遂行において必要となる主要なものに限定して記述。

※以下は機関別に記述すること。

※各費目の詳細については、参考資料の科学技術・学術政策局、研究振興局及び研究開発局委託契約事務処理要領を参照。

【設備備品費における主な支出内容】

※設備備品費を計上する場合、具体的な物品名・金額・個数とその必要性について記述。

【試作品費における主な支出内容】

※試作品費を計上する場合、本支出の必要性についても記述。

【人件費における主な支出内容】

※人件費を計上する場合、職位・雇用期間・金額・エフォート・人数についても記述。

【業務実施費における主な内容】

【一般管理費における主な内容】